

《《補導員の手記》》

応援していますよ

非行を犯す少年や保護者と接する中で、今なお心に残る、2人の女子中学生がいます。

約10年前の早朝のことです。他署から「そちら居住の女子中学生2名を保護しました。今から送り届けます」と、一本の電話がありました。数時間後、中学3年生のA子とB子が到着しました。早速2人から話を聞いたところ「2人で公園にいたところ、大学生風の男4人に声を掛けられドライブを楽しんだ。しかし、男たちの態度が変わり乱暴されそうになったため騒いだところ、真夜中、見知らぬ土地で車から降ろされた」というものでした。

話は2日間にも及びましたが、2人ともに明るい性格で時には雑談も交えながら話してくれました。ところが突然、B子が「御免なさい。全部嘘なんです」と切り出しました。

B子によると、親友であるA子から「父子家庭で弟と祖母はいるが、父親はトラック運転手のため不在がちで寂しい。成績も芳しくなく進路も心配だ」と打ち明けられ、2人で遠くへ行こうということになり、列車に乗り真夜中の無人駅で下車したものの、不安になりコンビニまで歩き助けを求めたとのことでした。

その後、数回に渡り学習指導等をしながらか2人と関わりを持ちました。B子の言う通り、A子の父親と接触したのは、保護されたその時だけです。

また、B子の自宅にあっては、一歩足を踏み入るとゴミが散乱している状態でした。我が子が良い方向へ進めるか否かの岐路に立たされているものになって親だろうと思うのが正しいのかもしれませんが。

しかし、迎えに来ていたA子の父親の安堵した表情、家庭訪問の度にB子の生活態度を案じる母親の姿を思い出し、きっと2人とも大丈夫と自分に言い聞かせながら、中学校卒業を機に2人との関わりが終了しました。

基本的な人間関係の構築を始め、非行を犯す子どもを取り巻く環境は厳しいものがあります。

保護者もジレンマを感じていることでしょう。もしかしたら、A子もB子も、時には自分の子どもの頃の姿を重ねながら、時にはジレンマを感じながら、良き母親になっているかもしれません。

2人との出会いから10年が経ちます。しかし、今でも、前へ進もうとする懸命な姿が時々思い出され、心の中で応援し続けています。

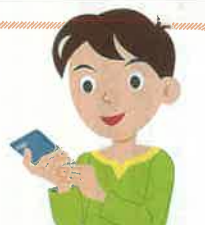
もし前へ踏み出せずにいる子どもがいたら、周囲には応援してくれる大人がいることを覚えていて欲しいと思います。



福島北警察署
桑折分庁舎
副主任少年警察補導員
安田 陸美



わすれません かぎかけ声かけ 心がけ
気をつけて クリック1つの 落とし穴
書き込みに 責任もとう ネット社会



自転車防犯登録を推進しましょう

自転車防犯登録

自転車の防犯登録は、法律によって義務づけられています。防犯登録をすることにより、自転車盗難被害の防止効果とともに、自転車の被害回復に役立っています。

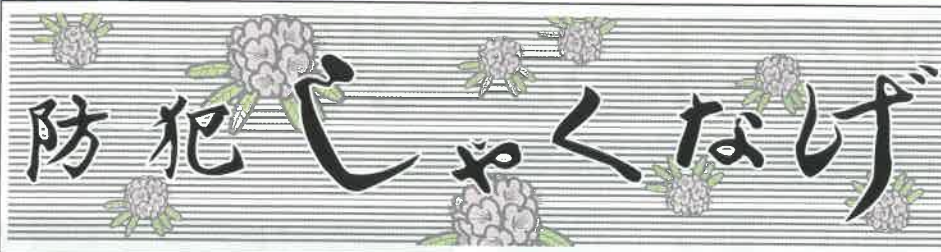
必ず防犯登録をしましょう。

- 自転車が盗まれたらお近くの警察に届けてください
- 自転車の所有者が変わったときも登録が必要です

あなたの善意を県民のために役立ててみませんか 賛助会員募集中

公益社団法人福島県防犯協会連合会では、会員皆様の会費等により業務を推進していますが、より充実した活動を行うため、**賛助会員**を募集しています。

入会手続きは、公益社団法人福島県防犯協会連合会ホームページをご覧になるか又は同連合会事務局までお問い合わせください。電話 (024) 535-8499



発行
公益社団法人福島県防犯協会連合会
福島市山下町5番28号
☎024-535-8499
☎024-534-7070
http://www.bouhanfukushima.com
印刷 (株)民報印刷

みんなで作ろう 安心の街 ネットの危険から子どもたちを守るために

自撮り画像を送信 (児童ポルノ製造、強要被害事案)

女子中学生は、コミュニティサイトで知り合った男に、連絡先と顔写真をばらまくと脅かされて、自分の裸の画像を送信させられました。



他人に見られて恥ずかしい写真を送ってはいけません。画像は一度流出すると回収が困難で、一生苦しむことになります。

ネットだけでは 相手の本当の姿はわかりません

ネットで知り合った人を簡単に信用し、実際に会う約束をして、取り返しのつかない犯罪に巻き込まれてしまった子どももいます。



新学期を迎え、初めてスマートフォン等のインターネット接続機器を利用する子どもたちも多いのではないのでしょうか。近年、青少年によるSNSやオンラインゲーム等いわゆるソーシャルメディア等の利用が急速に進んでいます。しかし一方で、インターネットを悪用した犯罪の被害にあって、トラブルに巻き込まれるケースが多発しているのです。これを防ぐにはどうすればよいのでしょうか。

◆フィルタリングや保護者管理機能をしっかり設定しましょう

フィルタリングとは、青少年に有害なインターネット上のサイトへのアクセスを制限するサービスです。

ケータイやスマホのフィルタリング機能や、携帯ゲーム機・携帯音楽プレイヤーの保護者管理機能をしっかり設定しましょう。

◆家庭で子どもと一緒にルールを作りましょう

犯罪やトラブルから子どもを守るために、日頃から家庭でのコミュニケーションをとり、子どもにインターネットの危険性を教えることや、一緒に家庭のルールを作ることが大切です。

- 例
- ・接続するサイトやダウンロードするアプリは保護者に確認する。
 - ・自分や友だちの個人情報や写真は、ネットに公開しない。
 - ・知らない人と電話やメール、メッセージを交換しない。
 - ・自分が言われて嫌なことや悪口はSNSやメールで送らない。
 - ・自分のIDやパスワードは他人に絶対教えない。
 - ・下着姿や裸の写真は撮らない、撮させない。
 - ・利用料金や利用時間を決める。
 - ・他人のID・パスワードを勝手に使わない。
 - ・困ったことがあれば、必ず保護者に相談する。
 - ・ルールを守れなかった時のルールを決める。

保護者に内緒で課金、物を売買!?



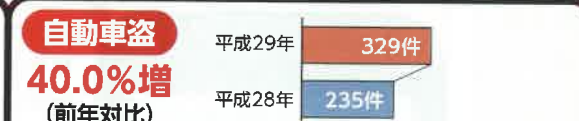
「車上ねらい」の被害が増加しています。その約7割が無施錠の車内から盗まれており、県中南部で特に被害が多くなっています。

- 対策
- ・車の窓やカギは必ず閉める!
 - ・外から見える所に物を置かない!
 - ・明るく、人目につく場所に駐車する!



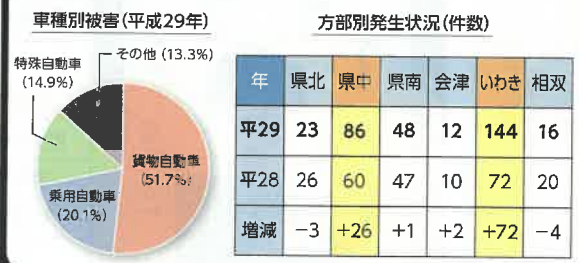
ナンバープレートの盗難など、二次犯罪に悪用されるおそれのある「部品ねらい」が、県中南部などで急増しています。

- 対策
- ・ナンバープレート盗難防止ネジ、ホイール盗難防止用ナット等、防犯部品を活用する!
 - ・夜間も明るい場所に駐車する!



「自動車盗」の被害がいわきや県中南部で急増しています。そのうち乗用自動車では無施錠車が自宅敷地等から被害にあいやすく、全体の約半数にあたる貨物自動車ではクレーン付きトラックの被害が大半を占めています。

- 対策
- ・車両から離れる際は、必ず施錠する!
 - ・保管場所に照明、センサーライトや防犯カメラを設置する!
 - ・イモビライザー・ハンドルロックやタイヤロックなどの盗難防止装置をつける!



ご用心!
急増中!
県内
自動車関連犯罪
福島県内で自動車関連犯罪(自動車盗、車上ねらい、部品ねらい)が急増しています。十分注意しましょう。

安全・安心なまちづくり



地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

伊達市防犯協会連合会大田支部 (伊達市)

昭和30年に結成された大田支部は、平成18年の伊達市合併により、伊達市防犯協会連合会大田支部となりました。同支部は、森藤哲良支部長以下、地区の代表者で構成され、積極的に防犯活動を展開するとともに、いわき東地区防犯協会泉支部と情報交換会を開催するなどして、防犯活動の質の向上に取り組んでいます。



富久山交番連協パトロール隊 (郡山市)

富久山交番連協パトロール隊は、平成18年3月に発足し、現在岩崎智芳会長を中心として隊員45名で活動しています。パトロール活動は、毎月2回から3回青色回転灯装備車による夜間の管内全体パトロールと、各小学校低学年の下校時間帯における学区別パトロール等の見守り活動を実施しており、街頭パトロールを通じて、地域の安全安心の確保に大きく貢献しています。



南会津地区少年警察ボランティア会 (南会津郡)

南会津地区少年警察ボランティア会は、南会津郡内の4町村、15名の少年補導員から構成され、少年の健全育成に向けた取り組みを行っています。田島祇園祭をはじめとする各地区祭礼での補導活動や、学校を訪問しての非行防止広報活動を実施しながら「地域の子どもは地域で見守る」という社会機運の醸成に努めています。



平成30年全国地域安全運動 ポスター・標語・青パト写真を募集

平成30年における全国地域安全運動は、10月11日(木)から20日(土)までの10日間行われる予定です。

この運動に向けて、今年も地域安全ポスターと標語及び青パト写真の募集を行います。

優秀な作品につきましては、県内の地域安全活動の広報資料として活用されるとともに、全国防犯協会連合会が主催する全国審査の応募作として出品いたします。

募集テーマ(課題)等の詳細は、募集チラシ又は公益社団法人福島県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。

地区防犯協会(警察署)への応募メ切りは5月22日(火)です。

多発! 架空請求詐欺 サイト利用料詐欺

こんなメールは詐欺

有料サイト利用料名目の架空請求詐欺が多発しています。ご注意ください!!

- 身に覚えのない不審な請求メールは無視!
 - 一人で悩まず、すぐ家族や警察等に相談!
 - 「電子ギフト券を購入して」は詐欺!
- そのほか、コンビニ決済等を要求されることもあります。

警察安全相談#9110 または 消費者ホットライン188

なりすまし詐欺被害 (平成29年・県内)	件数	被害金額
オレオレ詐欺	36	7,908万円
架空請求詐欺	51	1億270万円
融資保証金詐欺	7	536万円
還付金等詐欺	7	481万円
その他の詐欺	2	674万円
合計	103	1億9,869万円



平成29年地域安全作文 中学生の部 最優秀作品



地域みんなで大きな防犯力 福島市立大島中学校1年(応募時) 渡辺 健斗さん

近年、増えているのが子どもや力の弱い女性をねらった不審者による事件です。誘拐や声かけ、最悪の場合、殺害事件にまで発展する凶悪事件です。

私は、このような事件から、子どもを守るには、地域の三つの目で見守ることが大切だと思っています。

一つ目は、「家庭の目」です。

自分の子どもに対して、知らない人について行かないことや、暗くなるまで遊ばないこと、一人で登下校しないなど、家庭でのルールを話し合い、子どもが自分の身を守る大切さを考えるきっかけを設ける役割があります。これによって、小さな子どもにとっては、自分のお父さんやお母さんに言われたことや、約束したことは守らなければならないので、効果はあると思います。また、最も大切なことは、親子の会話の機会を多く取るということです。これによって誰と遊ぶのか、何時に帰るのかなど知ることができる上に、もしも異変があった場合は早期に対応がとれるからです。まずは家庭で、子どもをしっかり見つめる目が重要です。

二つ目は、「学校」の目です。

学校は、地域の子どもたちが平等に学ぶことができる場所です。勉強だけではなく、集団生活でのルールや社会生活のきまりを身につけるための場所としての役割もあります。

そんな学校だから出来る、そしてやらなくてはならないのは、子どもたちが危険から自らの身を守るための防犯教育です。例えば、学校の中に不審者が入って

きた時は、とびらの前に机やイスでバリケードを作ったり、カーテンを閉めて隠れる場所があったら、身を隠すなどの対応の仕方など対策します。

声かけに遭遇した時は、大きな声を出し、近くにある家に駆け込み助けを求めたり、防犯ブザーを持っている場合は、防犯ブザーを鳴らして助けを求めたりすることが大切です。やはり学校では、みんなに平等に教えることができるので、学校は、地域の危険と子どもたちの安全に目を光らせる必要があります。

三つ目は、「地域」の目です。

家庭や学校の中にだけで子どもたちは生きていくではありません。外に出て遊ぶ時や登下校する時に、一番不審者に遭遇しやすいので、友達と一緒に帰る必要があります。ただ子どもたちの工夫だけでは、危険から身を守れない場合もあります。だから、地域の大人たちで地域の子どもたちを常に見守ることが必要です。

僕の学区内では、見守り隊の方々や交通事故から子どもを守るように、毎日登下校を見守ってくれています。

地域みんなで意識を強く持つことことで実行力に繋がり、大きな防犯力となるはずなんです。

以上の3つの子どもたちを守る目の役割が機能することで、地域の安全を保つことができると思っています。

中学生の僕は、まず身を守るようにしたいです。

どうしてだまされてしまうの?

オレオレ詐欺は
息子や孫など大切な人を守りたいという
思いやりにつけ込んだ犯罪だからです

対策
息子さん等の元の電話にかけて確認!
知らない人に絶対お金を渡さない!

「会社にバレたら首になる」「逮捕される」「等々」とパニックにさせ、お金をだまし取るという手口です。

すぐ信用せず、必ず家族等に相談!
息子さん等の元の電話にかけて確認!
知らない人に絶対お金を渡さない!



「会津若松市安全安心フェア」における「なりすまし詐欺被害防止」広報活動
平成29年11月(会津若松市) 会津若松警察署



地域住民との触れ合いを通じた防犯広報活動
平成29年11月(福島市) 福島地区防犯指導隊

防犯活動フォト紹介

「自転車盗被害ゼロの日」における防犯指導広報
平成29年11月(福島市) 福島地区防犯指導隊



「自転車盗被害ゼロの日」における防犯指導活動
平成29年(いわき市) いわき中央警察署

